

平成28年9月15日

報道関係各位

火砕流災害から25年 大野木場被災家屋を発掘

雲仙普賢岳平成噴火の火砕流によって深江町の大野木場地区
が大きな被害を受けてから、9月15日でちょうど25年。

市教育委員会では、5月末より被災した個人宅の発掘調査を
進めてきました。その結果、農機具小屋、風呂場、池などの災
害遺構を検出しました。厚い火砕流の火山灰に埋もれたその状
況は、火山災害の恐ろしさと防災の必要性を強く訴えるもので
す。

このたび、発掘調査の成果発表のため下記のとおり現地説明
会を開催します。

記

日 時 9月21日（水）午前10時～

集合場所 深江埋蔵文化財・噴火災害資料館
（大野木場監視所（砂防みらい館）の前）
※集合後、発掘調査現場へ移動します。

出 席 文化財課長 松本慎二
調査担当職員
武蔵野美術大学教授 大浦一志（映像配信）

備 考 現地は砂防区域内となりますので、ヘルメッ
トをご持参ください。

担当部署	教育委員会文化財課	担当者	本多 和典
直 通	050-3381-5083	E mail	bunkazai@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは 			
担当者 連絡先			
	検索ワード 南島原 雲仙普賢岳 25年 火砕流 災害 発掘調査		



調査区全景



風呂場検出状況



農機具小屋検出状況



池検出状況